

外 来 診 療 の 案 内

令和6年11月現在

院長（兼）総合診療科部長（兼）地域医療連携室長（兼）医療安全管理室長 田中 修也

副院長（兼）小児科部長 水流 尚志 事務長 久永 勇一 総看護師長 梶原 貴美

【診療科部長】 呼吸器内科部長 中塩屋 二郎 循環器内科部長 吉野 聰史 脳神経内科部長 有村 仁志

診 療 科		月	火	水	木	金
内 科	応援医師（終日）	園田 理子 (日高 将氣)	園田 理子	園田 理子 (日高 将氣)	宇都 寛高	
	リウマチ・膠原病外来（終日）			駿河 幸男		
	糖尿病外来（終日）			福重 恵利子		
	肝臓外来（終日）			長谷川 将 (第2、4週)		
	生活習慣病 予防健診・ドック				宇都 寛高 園田 理子	
呼吸器内科（午前）		呼吸器内科医師3名（田中 修也、中塩屋 二郎、宇都 寛高）				
呼吸器外科（午前）		前田 光喜				
循環器内科	初診	吉野 聰史	内門 義博	吉野 聰史	馬渡 浩史	吉野 聰史
	再診	馬渡 浩史				内門 義博
脳神経内科	午前	有村 仁志	有村 仁志	有村 仁志	有村 仁志	有村 仁志
	午後		もの忘れ認知症外来	脳ドック		
脳神経外科						鹿大応援医師 (第2、4週)
小児科	午前	水流 尚志	水流 尚志	水流 尚志	水流 尚志	水流 尚志
		柏村 優花	柏村 優花	柏村 優花	柏村 優花	柏村 優花
	午後	初診・再診受付 14時～16時		健診・予防接種 13時30分～15時	初診・再診受付14時～16時	
放射線科（読影のみ）						応援医師（午前）
腹部エコー	午前		検査室	検査室	検査室	
心エコー		内門 義博	馬渡 浩史	馬渡 浩史 (第1・3・5週) 内門(第2・4週)	吉野 聰史	馬渡 浩史
頸部エコー				放射線部(午後) 脳ドック		有村 仁志(午後) 第3週は不可
シンチ	終日	脳血流シンチ	骨シンチ	心筋シンチ	腫瘍シンチ/骨シンチ	脳血流シンチ
内視鏡	午前／上部消化管				軸屋 賢一	
	午後／下部消化管		重田浩一朗 肱黒 薫		軸屋 賢一	
気管支鏡		午後			呼吸器内科医師	
CT・MRI		終日	終日	終日	終日	終日

鹿児島県立北薩病院

〒895-2526 鹿児島県伊佐市大口宮人502-4
TEL : 0995-22-8511 FAX : 0995-22-6785
0995-22-9397(地域医療連携室)
Mail : hok-hos@pref.kagoshima.lg.jp

※受診について、小児科以外は原則予約制となっています（内科は完全予約制）。待ち時間短縮のため、電話での予約をお願いします。
○電話予約：午後2～5時まで



さ ざ ん か
～県立北薩病院だより～

11月号
No.219

3階病棟のリフォームが終わりました！



青色を基調とした明るく落ち着いた雰囲気のフロアに仕上りました



引き続き、令和7年3月下旬まで4階病棟の改修を行います。大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いします。



認定看護師の紹介



当院には、4分野の認定看護師が在籍しています。
今回は、「緩和ケア」認定看護師について紹介します。

○ 緩和ケアとは

緩和ケアとは身体や気持ちのつらさをやわらげるための医療やケアのことです。がん患者さんは、痛み・倦怠感などのさまざまな身体的な症状や、落ち込み・悲しみなどの精神的な苦痛を経験します。「緩和ケア」は、主にがんと診断されたときから行うケアです。心と身体の苦痛をやわらげ、自分らしい生活を送れるようにするケアです。今や日本人の二人に一人ががんになる時代です。あなた自身のために、そしてご家族のためにも「緩和ケア」という医療があることを頭の片隅においてください。

また、緩和ケアは、がん以外の疾患、心不全・慢性閉塞性肺疾患(COPD)・慢性腎臓病などでも受けることができます。

○ 県立北薩病院緩和ケア認定看護師 西川です

私は看護師を目指した頃から、家族看護の実態や患者さんと関わる中で緩和ケアに興味を持ち始めました。入職1年目、1人の患者さんに関わるスタッフの熱意、患者さんを思いやる心に胸をうたれ、気持ちはずんぐん緩和ケアにのめりこんでいきました。入職5年後には認定看護師を目指そうと目標を持ち、緩和ケア認定看護師になりました。

認定看護師としての主な仕事の内容は、

- ・ 痛みや息苦しさ・倦怠感・吐き気・食欲不振などの症状に対するケア
- ・ 生活に対する不安や死への恐怖など、精神面・スピリチュアル面のサポート
- ・ 患者さんや家族の意思決定のサポート
- ・ 病棟スタッフを指導して看護スキルの向上をサポート

です。緩和ケア認定看護師は医師や薬剤師といった他職種の医療従事者と連携し、終末期の患者さんのケアをします。患者さんやその家族が納得のいく選択ができるように意思決定のお手伝いをしたり、その人らしく過ごせるようにサポートしたりするのも重要な仕事の一つです。

たくさんのがん患者さんと出会い、辛いことや悲しいこともあります。私はがん患者さんに励まされ、たくさんのパワーをもらっていると感じることが多々あります。患者や家族とつながること、1人の人間として関わり患者さんが満足のいく看護ができたときや、家族が安心して最期までお見送りできた時などは本当にやりがいがあると感じられます。患者さんの身体や心のつらさを少しでもやわらげ、限りある人生をその人らしく過ごしていただけるように、患者さんや家族の声も聞きながら、患者さんと家族の支えになりしっかりサポートしていくようになりたいと思います。今後は地域にも貢献できるように頑張っていきたいと思います。

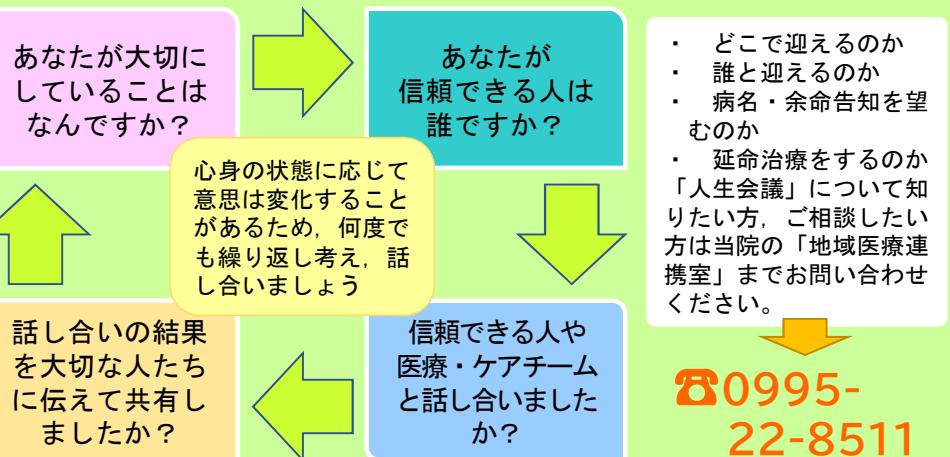
○ アドバンス・ケア・プランニング(ACP)

最近、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)という言葉を耳にする機会が多くなりました。

厚生労働省はアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の愛称を「人生会議」に決定するとともに、毎年11月30日（いい看取り・看取られ）を「人生会議の日」とし、人生の最終段階における医療・ケアについて考える日としています。

ACP(人生会議)とは、自分が希望する医療やケアを受けるために、大切にしていることや望んでいること、どこで、どのような医療・ケアを受けたいかを自分自身で前もって考え、家族・周囲の信頼する人たち・医療者らと共に話しあい、一度決めたら終わりではなく状況に応じて繰り返し話しあうというプロセスのことです。人生の中では誰でも、いつでも、「突然の事故」「突然の病気」「認知症」などで、医療やケアなど自分のことを自分で決めることや望みを人に伝えることができなくなってしまうことがあります。

個人の価値観や大事にしていること、どういう生活や生き方を望んでいるのかなど元気なうちに考え、相談し、話し合うことで、あなた自身の安心とご家族の精神的な負担軽減につながります。一度考えてみませんか？



当院では、伊佐地域の医療・看護の知識の向上を目指すため、施設・団体等へ認定看護師による出前研修や施設内ラウンドを実施しています。詳しくは、当院の医療安全管理室へお問い合わせくださいか、当院のホームページをご覧ください。

なお、講師費用は無料です。

○ 当院に在籍する認定看護師の分野

- (1) がん化学療法看護認定看護師
- (2) 精神科認定看護師
- (3) 緩和ケア認定看護師
- (4) 感染管理認定看護師

